

..... 編集後記

◆ 明けましておめでとうございます。つい先日までの一年間の出来事が、元旦を迎えて全てリセットされたような新鮮な感覚です。皆様におきましては、昨年一年はどのような年でしたでしょうか。そして今年はどうな年になろうとしているのでしょうか。

◆ 国際惑星地球年を迎え、佃地質調査総合センター代表は年頭の挨拶で、アウトリーチ活動を中心とした種々な活動方針を示しています。本誌もそれに協力して、誌面の一層の充実を目指したいと思います。

◆ 今月号は一般投稿で組んでいます。特別顧問の石原氏は、ロシア共和国プリモリーエ地方における金属鉱物資源について、銅・鉛・亜鉛・スズなどのベースメタルやインジウムを中心に報告しています。これまで未知の世界であった旧ソ連の資源情報はなかなか興味深いもので、口絵と併せてご覧下さい。

◆ アメリカのゴア前副大統領と国連のIPCCに、地球温暖化に関連して昨年のノーベル平和賞が授与されたことは、記憶に新しいホットな出来事です。また、今冬は原油が例年になく高値となっていますが、資源問題も長期的な課題となっています。川幡氏は、現在地球規模での課題となっている温暖化問題とエネルギー資源問題の課題を科学的にリンクさせて現状を紹介・解析して、これらの問題解決には地球規模での協力と抜本的な技術開発、ブレイクスルーを見だしていくことの重要性を説いています。

◆ 伊藤・丸井氏は、前号に引き続き国内一級河川の海底地下水湧出量の評価に関する話題を提供しています。海底地下水は淡水資源としても有望なため、データ空白域での河川流量増分を精度良く予測して評価することを目指して研究を進めています。関連す

る前号と併せて読まれることをお勧めします。

◆ 続く有田・須藤氏によるシリーズ物「砂と砂浜の地域誌」は2005年607号から始めて14回目で、今回は山口県です。美しい海岸線をつくる砂も重要な鉱物資源です。昨年12月に東京で開催された部門成果報告会で著者の一人須藤氏は、海岸線・環境の保全と砂採取・資源開発という相反する両者に関する地質学的研究の重要性を力説しておりました。

◆ 高橋氏はフリーのGISソフトを使用して地質図を作成する基礎について解説しており、3回に分けて紹介した最終回です。コンピュータは使い始める時はなかなか難しいものですが、慣れると結構便利です。これまでの解説を見ながらチャレンジしてみるのはいかがでしょうか。

◆ 副見氏による連載「ライマン雑記」も2年ぶり、22回目を迎えました。ライマンが日本の地質学・鉱業を起こしたことはもとより、教育者・平和論者・人間性の良さと、幅広く優れた人物であることが書かれています。100年以上も昔の膨大な資料を探し集めて、当時の様子を再現されている副見氏の努力と才能に驚きの文章です。

◆ 岩石のもつ残留磁化研究のような方向性を有する試料を採取するには、採取ポイントのみでなく方向性の記録が必要です。今回の、シリーズとなった「地質調査のパートナー」は、望月氏による3本脚クリノメータの紹介で、その利用法が示されています。

◆ 今年はどんな年になるでしょう、と書きましたが、どういう年にするかは私たち自身です。今年は子(ねずみ)年。目標を定め、成果がねずみ算の如く増えていくよう邁進していきましょう。(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

副委員長：吉田朋弘

委員：藤原 治・光畑裕司・高木哲一・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース

第641号 2008年 1月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2008年1月1日 発行

編集

産業技術総合研究所

発行人

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

発行所

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年 (IYPE) に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2008 Geological Survey of Japan